

平成20年度 学校評価アンケート結果（10月）

京都市立花背小中学校

A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない

番号	対象	項目	A	B	C	D
1	教職員	学校教育目標に沿って、充実した教育活動が行っている。	27%	73%		
	保護者・地域	学校教育目標に沿って、充実した教育活動が行われている。	50%	50%		
2	教職員	子どもたちが、安心して楽しく学校に通えるよう普段から心がけて指導を行っている。	60%	40%		
	保護者・地域	子どもたちは、安心して楽しく学校へ通っている。	78%	22%		
	児童・生徒	楽しく学校生活が過ごせている。	23%	43%	17%	17%
3	教職員	いつも子どもたちの声や耳を傾け、そのおおいを受止めようとしている。	47%	40%	13%	
	保護者・地域	子どもたちは、素直に教職員に自分のおおいを話している。	33%	67%		
	児童・生徒	先生たちと気兼ねなく話したり、自分のおおいや意見を出せている。	20%	53%	17%	10%
4	教職員	いじめや不登校、問題行動に対して、適切な対応を行っている。	33%	60%	7%	
	保護者・地域	学校は、いじめや不登校及び問題行動に対して適切な対応ができています。	67%	33%		
	児童・生徒	先生たちは、自分のことや友だちのことでの相談に対してきちんと対応してくれる。	13%	30%	30%	27%
5	教職員	子どもたちが自分のよいところを伸ばしていけるように、指導助言をしている。	40%	53%	7%	
	保護者・地域	教職員は、子どもたちの良い所を伸ばそうと指導している。	33%	67%		
	児童・生徒	先生たちは、自分たちの良いところを良く見つけて助言をしてくれる。	27%	37%	23%	13%
6	教職員	人権を尊重する優しい心や道徳心が育つように、普段から心がけて指導を行っている。	53%	40%	7%	
	保護者・地域	子どもたちには、人権尊重の優しい心や道徳心が育っている。	44%	44%	11%	
	児童・生徒	学校で人権尊重についての考え方や人に対する優しさについて学んでいる。	20%	47%	20%	13%
7	教職員	子どもたちの進路について、相談のつたり助言をしたりしている。	33%	53%	13%	
	保護者・地域	子どもたちの進路についての相談や助言が適切に行われている。	29%	71%		
	児童・生徒	自分の進路についての不安や心配ごとについて、相談や助言をしてもらえる。	23%	30%	40%	7%
8	教職員	子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備を行っている。	40%	53%	7%	
	保護者・地域	子どもたちは、環境が整った中で学習している。	33%	22%	44%	
	児童・生徒	整った環境の中で、落ち着いて学習に取り組むことができる。	30%	37%	33%	
9	教職員	子どもたちの興味・関心に合わせた分かりやすい授業を行っている。	47%	53%		
	保護者・地域	子どもたちは、興味・関心をもって学習に取り組んでいる。	67%	33%		
	児童・生徒	興味・関心をもって授業取り組み、理解できている。	13%	50%	23%	13%
10	教職員	個に応じた基礎・基本の学力の定着を目指した指導を行っている。	47%	53%		
	保護者・地域	個に応じた基礎・基本の学力の定着を目指した取組が行われている。	33%	67%		
	児童・生徒	授業中や学習会などでは、自分から進んで課題を解決できる。	73%	23%	3%	
11	教職員	個に応じた発展的な学習への取組に対する支援を行っている。	40%	60%		
	保護者・地域	個に応じた発展的な学習への取組が行われている。	22%	67%	11%	
	児童・生徒	自分で工夫をしながら、より深めて学習に取り組むことができる。	20%	43%	33%	3%
12	教職員	学校行事や児童生徒会行事に積極的に参加するよう指導を行っている。	60%	40%		
	保護者・地域	子どもたちは、学校行事や児童生徒会行事に積極的に取り組んでいる。	89%	11%		
	児童・生徒	学校行事や児童生徒会行事に積極的に参加している。	70%	23%	3%	
13	教職員	部活動やクラブ活動に積極的に取り組むよう指導を行っている。	53%	47%		
	保護者・地域	子どもたちは、部活動やクラブ活動に積極的に取り組んでいる。	89%	11%		
	児童・生徒	部活動やクラブ活動に積極的に参加している。	30%	47%	7%	17%
14	教職員	教育活動の内容や子どもたちの様子などを保護者に伝えている。	13%	80%	7%	
	保護者・地域	教育活動や子どもたちの様子は、「学校便り」や「学年便り」などでよく伝わっている。	56%	44%		
	児童・生徒	学校からの配布物は、きちんと家の人に渡している。	43%	40%	17%	
15	教職員	保護者の質問や相談に誠実に対応している。	20%	80%		
	保護者・地域	教職員は、気兼ねなく質問や相談ができる。	44%	56%		

学校評価（前期）の結果から

京都市立花背小中学校

学校におきましては教職員の自己評価と児童生徒のおおいを、そして地域（学校運営協議会）・保護者の方につきましてはアンケート形式でご意見をうかがいました。その集計が出来ましたのでお知らせいたします。

全部で15項目の質問を設定しました。1～8は学校の教育方針について、9～11は学習について、そして12～15はその他教育活動についてにわたっています。

1 総合的に見ると、「よくあてはまる・ややあてはまる」という意見が過半数を占め、概ね良好と言えます。しかし、教職員の評価に反して児童生徒がそう考えていない部分も見られます。質問4や7については「あまりあてはまらない」と答えた児童生徒の方が多く、このことは現状をしっかりと認識し、その要因を考え対処していかなければならないことだと思います。自分を大切にできる子どもは、相手を大切にできます。自分が認められていると感じる子どもは、友だちを認めることができます。思いやりの優しい心、人権意識に敏感な児童生徒を育てていく取組が今後も必要だと感じています。また、教職員が「あまりあてはまらない」と評価している項目について、児童生徒や地域・保護者の方にも同じような意見を聞くことができました。特に、質問8については誰もが痛感していることであり、学校と地域が協力しながら、取組を進めていく必要があると思います。

2 学習については、基礎基本を大切にしながらも、一人一人の個性を伸ばしていく学習が実践できているように思われます。開校2年目にして、1年目の成果が現れてきているのではないのでしょうか。朝読書の時間、学年や児童会、生徒会での取組、そして、学年の枠を越えた学習などを通して、数多く経験することで児童生徒の興味・関心を高め、意欲的に学習する姿勢や態度として育ってきたように思います。また保護者・地域の方々の学校教育に対してのご理解・ご協力も大きな要因だと思っております。今後も、本校一貫教育の特色を生かした実践から、自分自身でより工夫をしながら学習していくことのできる児童生徒を育てていく取組を進めていきたいと思っております。

3 学校行事や部活動については、異年齢集団の中で、お互いが協力しながら活動ができています。日常生活においても1～9年生の児童生徒が楽しく話をしながら過ごしています。また、中学生は小学生のことを気にかけるながら、小学生は中学生を信頼して活動する姿が数多く見られます。今後も、児童生徒が安心して過ごせ、友だちを大切にしながら自分の力を十分に発揮できるような学校を目指して、教科・領域、学校行事等でのさらに具体的で効果的な取組を進めていきたいと思っております。